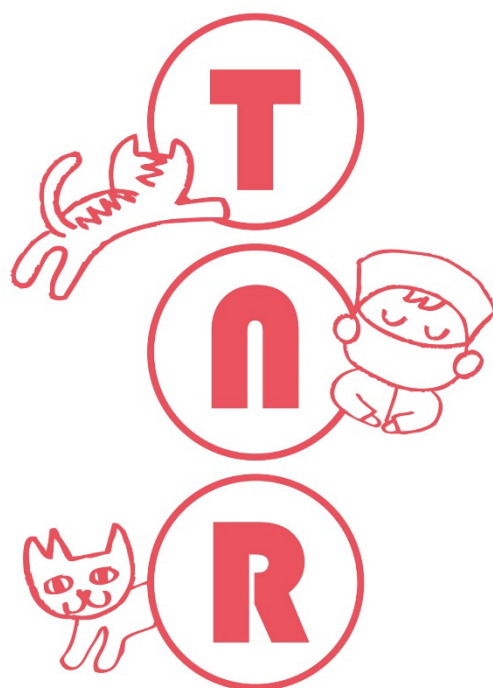


第2回 男木島ごと さくらねこTNRプロジェクト 実施報告書



doubutukikin since 1988

主 催：公益財団法人どうぶつ基金

共 催：男木さくらねこ推進会

共 催：NPO法人 BONにゃん

期 間：平成28年9月15日～16日（手術日）

香川県の現状

平成26年度環境省調べのデータによると、香川県は年間1,877頭の猫を殺処分しており、殺処分数は、全国ワースト19位に位置する。

自治体名	猫									
	引取り数				処分数					
	飼い主から		所有者不明		返還数	返還数のうち 幼齢個体	譲渡数	譲渡数のうち 幼齢個体	殺処分数	殺処分数のうち 幼齢個体
	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体						
香川県 (高松市を除く)	51	0	1,060	288	4	0	124	16	1,269	246
高松市	34	14	280	332	6	0	44	0	608	346
合計	85	14	1,340	620	10	0	168	16	1,877	592

瀬戸内の島、男木島

瀬戸内海にある男木島（香川県高松市男木町）は、高松港から約35分ほど沖合に位置し、周囲4km、人口200人に満たない小さな島です。その大部分が山地であり平地がほとんどありません。そのため民家は島の南部の男木港周辺の斜面に密集して建ち並んでおり、その民家の間をまるで迷路のように細い坂道が入り組むといった独特の景観が特徴的です。また、瀬戸内の島々を会場にして3年に一度開催されている現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」に初回の2010年から参加しており、華やかなアート作品で島が彩られています。現代アートとの融合や新しくもホッとするような懐かしさを感じることができます。

©2013 男木地区コミュニティ協議会 HPより引用



男木島状況（申請時）

男木島は、2013年に動物写真家に紹介されたことをきっかけに、猫島として全国的に有名になり多くの観光客が訪れるようになった。そういった状況下で、香川県で猫のTNRや保護、里親探し活動を行う「NPO法人BONにゃん」に、猫好きの観光客から「男木島の猫の状態が悪い」「飢えていて可哀想」「どうにかならないか」といった問い合わせが多く寄せられるようになった。その反面、島では猫が漁師の網を破る、トウモロコシの芽を齧る、畑で糞尿をする、盛りの声がうるさいといった被害の苦情が男木地区コミュニティ協議会(のちの男木さくらねこ推進会)に相次いでいた。



1回目の時は、栄養状態が悪く弱っている猫や怪我をしている猫が多かった。

第2回目の目的

対応に困った男木さくらねこ推進会は、視察に来島したNPO法人BONにゃんに相談し、猫の健康状態の改善と全頭（推定200頭）への不妊手術を6月に実施。その際、小さすぎて手術ができなかった子猫たちや、手術後また新たに発見された猫たちがいた。この猫たち全頭の不妊手術を行わないことには、また猫の被害に悩む男木島に戻ってしまうと懸念し、2回目の「さくらねこ無料不妊手術事業、出張手術」申請を行った。

手術会場・猫保護場

doubutukikin

第2回は、離島で移動手術車による無料不妊手術を行うという日本初の取り組みとなった。手術会場には、男木島の港前近くのスペースを利用した。手術会場の準備・手配はBONにゃんと男木さくらねこ推進会木場会長によって行われた。



● 9月14日、移動手術車「さくらねこ号」男木島入り。



● 男木町の港前広場で会場設営



● 会場の立てテント内で捕獲した猫を保管。
夜間は、会場内に入れイノシシ対策とした。



● 会場と保護場間の移動では、農作業用
小型特殊自動車が猫の運搬に活躍し

た。

捕獲器・ケージ使用台数

所持者	捕獲器	ケージ
どうぶつ基金	50台	10台

Sakura Neko
TNR

スケジュール

doubutukikin

9月11日（日）		9月15日（木）	
10:00～ 15:00	捕獲	9 : 0 0	朝礼
9月14日（水）		9 : 1 0	手術開始
		1 2 : 0 0	昼休憩
		1 3 : 0 0	手術再開
		1 5 : 3 0	手術終了
1 2 : 0 0	獣医師団来島	1 6 : 0 0	撤収完了・終礼
1 3 : 0 0	会場設営	9月16日（金）	
1 8 : 0 0	捕獲	9 : 0 0	リリース 会場片づけ 捕獲器洗浄消毒
		1 5 : 0 0	離島

協働人数

日 程	どうぶつ基金	男木島	BONにゃん	合計
9月10日	0名	1名	0名	1名
9月11日	0名	1名	2名	3名
9月12日	0名	1名	0名	1名
9月13日	0名	1名	0名	1名
9月14日	0名	1名	5名	6名
9月15日	スタッフ2名 獣医師3名	1名	3名	9名
9月16日	2名	1名	3名	6名

Sakura Neko
TNR

手術数

doubutukikin

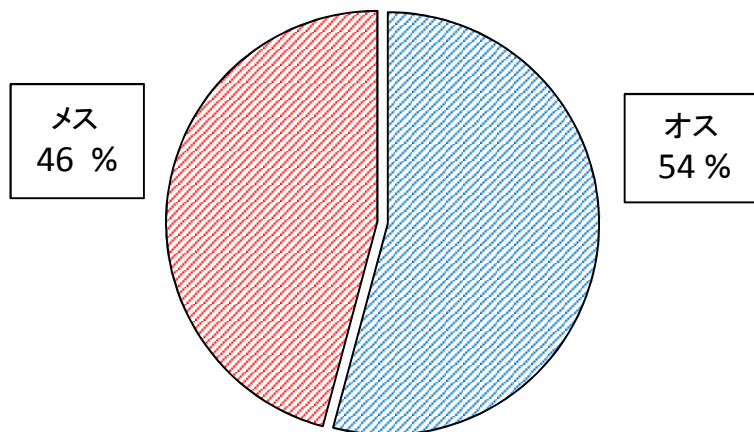
手術数

	オス	メス	耳カットのみ	計
9月15日	10	13	0	23
9月16日	1	0	0	1
計	11	13	0	24

処置内容

不妊去勢手術、ノミ・ダニ・回虫の駆除薬（レボリューション）、ワクチン、点眼、補液50cc

オスメス割合



捕獲して



不妊手術をしてサクラ耳カット



元の場所に戻す

Sakura Neko
TNR

第1回目のその後

doubutukikin

第1回時に保護した若い猫たち

生後間もないために体重が足りず、手術ができなかった子猫が14頭いた。

うち、7頭は島で、手術を受けられる大きさまで見守った。のこりの7頭の子猫と、手術を受けた9頭の若い猫(6月時点)、計16頭はBONにゃんが引き取り、里親探しを行った。現在15頭は里親が決まっており、あと1頭は引き続き里親探し中。



- 第1回時に保護した子猫(左の写真)。前回手術できなかった子猫が島で見守られ、手術を受けられる大きさに成長(右の写真)。この成長した子たちと、第1回後に新たに発見された子たちが今回の出張手術のターゲットに。



- 第1回時に撮影した猫(左の写真)は痩せている猫ばかりだった。不妊去勢を受け、その後気持ちよさそうに寝ている猫(右の写真)。発情期のストレスから解放され、全国の方々から頂いた餌のご寄付により食べ物が良くなり、体調・体格・毛並みも良い状態となった。

Sakura Neko
TNR



●山口獣医師長（執刀医）



●高尾獣医師（ボランティア参加）



●小松獣医師（ボランティア参加）

当プロジェクトの趣旨に賛同し、2名の獣医師がボランティア参加した。

手術会場の様子

doubutukikin



●手術前に全員で朝礼を行う



●男木さくらねこ推進会 木場会長



●NPO法人BONにゃん 長町代表



●どうぶつ基金手術車「さくらねこ号」到着



●港につくと、巨大さくらねこがお出迎え。



●今回は男木島の港近くのスペースで手術を実施。手術車セッティング中。

Sakura Neko
TNR

手術会場の様子

doubutukikin



●TNR名人のBONにゃん代表と島のボランティアさん。



●捕獲した猫を次々と手術会場へ。



●手術開始。安定剤や麻酔を注射。



●ワクチン・ノミ駆除・毛刈りをし、さくら耳にカット。



●不妊手術中。手術は手術車の中で実施。



●手術を終えた“さくらねこ”たち。

手術会場の様子

doubutukikin



- 2ヵ月前の手術後、「臭いがしなくなった」「猫が健康になった」「猫が好きになった」「夜中のさかり声が消えた」「猫が穏やかになった」と、糞尿の問題や農作物被害に悩んでいた島民から喜びの声が届いた。

右上の写真は前回手術をした「さくらねこ」たち。健康状態も改善され、ケンカによる怪我もなくなり、のんびりと穏やかに過ごせている様子が伺える。



- 今回もボランティアで参加して下さった高尾獣医師と小松獣医師(左の写真)。
手術の後(右の写真)、片付けが終わるころにはすっかり日も暮れ、連絡船の最終便も過ぎていたが晴れやかな表情で海上タクシーに乗り込むボランティアとどうぶつ基金スタッフ。第2回男木島ごとさくらねこTNRプロジェクト無事終了。

Sakura Neko
TNR

まとめ

doubutukikin

男木島ごとさくらねこTNRプロジェクト第2回目の出張手術は、男木さくらねこ推進会 木場会長と、NPO法人 BONにゃん、ボランティア参加して下さった高尾獣医師・小松獣医師やAHTの方々の尽力により、スムーズに・ほぼ計画通りに終了した。島民の皆様の団結と協力も得られ、短期間で島ねこ全頭をさくらねこにすることが出来た。

今後も、現代アートと猫を目当てに国内外から訪れる多くの観光客に、

“さくらねこ”は、“不妊手術済み”であること、“さくらねこ”は、“愛されている猫”であること、“男木島”は、“世界一ねこにも人にもやさしい島”になろうとしていること

を、広く広報していく必要がある。男木島+さくらねこ+アート=世界一ねこにやさしい島」と題した活動も展開していく予定である。

男 木 島 +
さくらねこ +
ア ー ト =
世界一ねこに
やさしい 島

不妊手術済の
しるし

男木島+さくらねこ+アート
Ogijima+Sakuraneko+Art
男木地区コミュニティ協議会 / NPO法人BONにゃん / 公益財団法人どうぶつ基金



Sakura Neko
TNR



公益財団法人どうぶつ基金
男木さくらねこ推進会
NPO法人 BONにゃん